

「第18期（2020年3月期）業績」
「対処すべき課題」

第18期連結業績

(百万円)	20/03 通期実績	前期比		売上高
		増減	増減率	研究用試薬、受託サービスが好調だったが、旧医食品バイオ事業の譲渡などにより減収
売上高	34,565	▲ 1,275	▲ 3.6%	売上原価・総利益 製品構成等の変化により原価率改善し、売上総利益が増加
売上原価	13,459	▲ 1,696	▲ 11.2%	
売上総利益	21,105	420	+2.0%	販管費及び一般管理費 遺伝子治療の臨床開発費の提携先企業への移管が進み、研究開発費が減少
販売費及び一般管理費	14,830	▲ 390	▲ 2.6%	
営業利益	6,274	+811	+14.8%	営業利益 過去最高益（11期連続）
経常利益	6,347	+682	+12.1%	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,819	+162	+4.4%	

「中期経営計画2019」の振り返り 売上高は計画未達も、営業利益は当初計画を大きく上回った

中計2019の実績

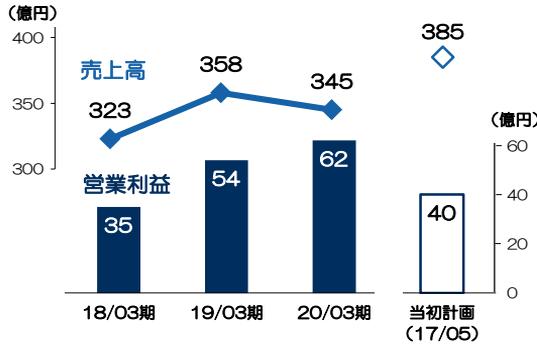
(億円)	実績 (20/03)	当初計画 (17/05公表)
売上高	345	385
営業利益	62	40

売上高

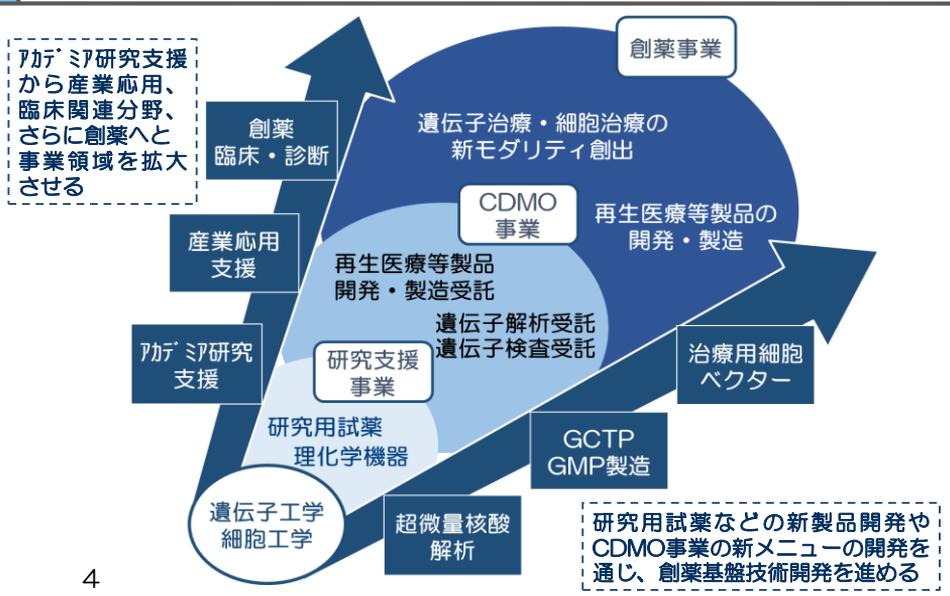
2018年の医食品バイオ事業の譲渡等により計画未達。

営業利益

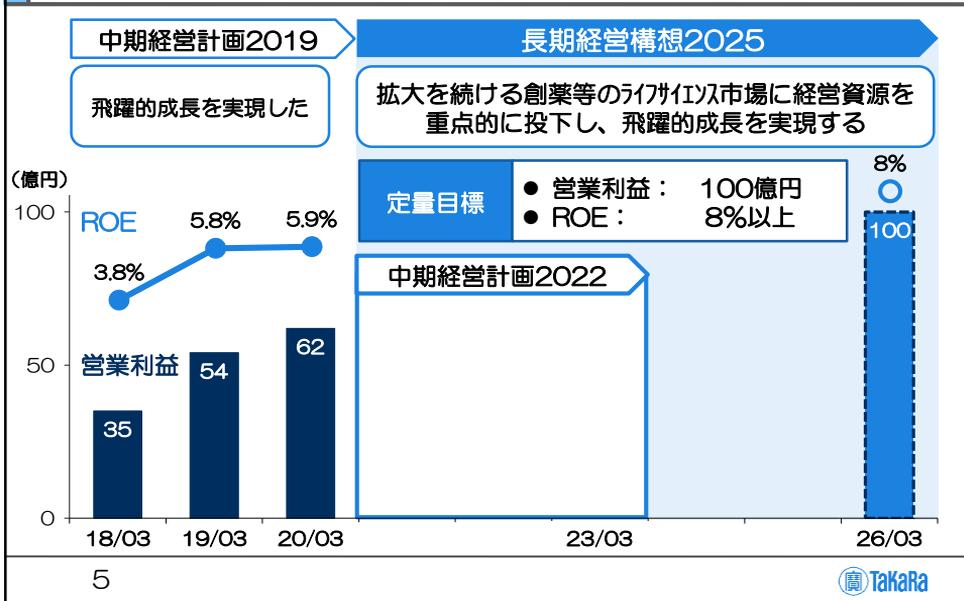
海外の研究用試薬伸長や国内のCDMO事業拡大、遺伝子医療事業における対価料収入等により、当初計画を大きく上回った。



「長期経営構想2025」① ビジョン (目指す姿) 研究用試薬、理化学機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、 新モダリティを創出し続ける創薬企業を目指す



「長期経営構想2025」② 2025年度に営業利益100億円企業への成長を目指す



「中期経営計画2022」 研究開発費の積極的投下により、成長基盤を構築

